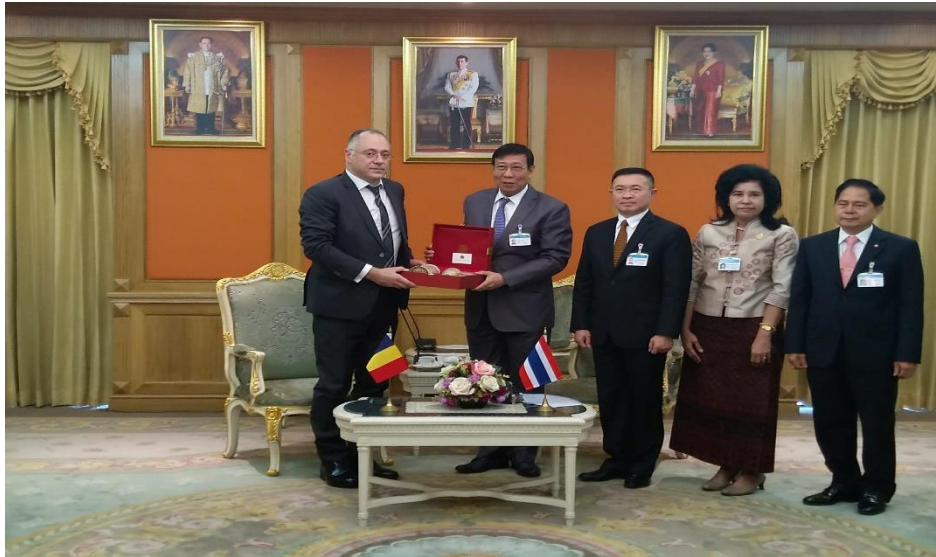


新任駐タイローマニア大使による国家立法議会の議長表敬



2018年3月12日、国家立法議会の議長は新任駐タイローマニア大使による表敬訪問を受け、タイ・ローマニア両国間の立法上の協力をより一層強化していきたいと指示しました。

国会議事堂第2号館2階の特別応接室で 特任教授ポーネット・ウィチットチョンラチャイ国家立法議会の議長（右側）は 在タイローマニア大使として新たに任命されたボグダン・バディア閣下 (H.E. Mr. Bogdan Badea) による表敬訪問を受け、タイ・ローマニア両国間の緊密な立法上の協力を強化していきたいと指示しました。

この中、議長は、バディア閣下が在タイ大使に就任したことを祝福すると共にタイ・ローマニア両国が45年にもわたり緊密な友好関係を維持したこと、貿易や投資などの様々な分野における交流がより深まったこと、そして国会・政府・国民と国民レベルで相互理解が深まったことを確認しました。最後に、タイは今民主化を目指し、国を各面で改革を行っている同時に、議会はローマニアと協力し働いていくことを議長は強調しました。

一方、バディア閣下はタイ側の温かい歓迎に 謝意を表し、就任後、在タイローマニア大使として 観光や貿易や投資などの各レベルにおける 両国間 関係強化 のために 尽力していくと確信しました。特に観光については、ローマニア観光客が 以前より数日 滞在し、タイ国内で観光できるようになるために観光ビザ（短期訪問ビザ）で滞在期間を2週間から30日間に変更していただきたいと閣下は考えを示しました。今後、議長との意見交換や両国間協力の促進などを続けていくことを希望しています。

衆議院事務局 | 国会ラジオ・テレビ放送局

記事: ナット・ブンジット

編集: アルニー・タンサックダー

衆議院事務局 | 外国語事業担当局 | 日本語通訳・翻訳

翻訳: タカウィット・ミンクワン

参考サイト : <http://www.radioparliament.net/parliament/viewNews.php?nId=9075>